

試験結果報告書

殿

工事名：

試験の種類：切込碎石

試験年月日：令和7年10月31日

北九州市八幡西区大字畑576番地の3

株式会社 西村碎石所 大谷工場





この写しは原本と相違ないことを
証明致します

切 込 砕 石

年 月 日

北九州市小倉南区大字呼野1035-5

株式会社 西村砕石所



2025年10月31日

殿

試料名・目的 切込碎石
試料採取場所 貯 積

標記について試験結果を
御報告致します。

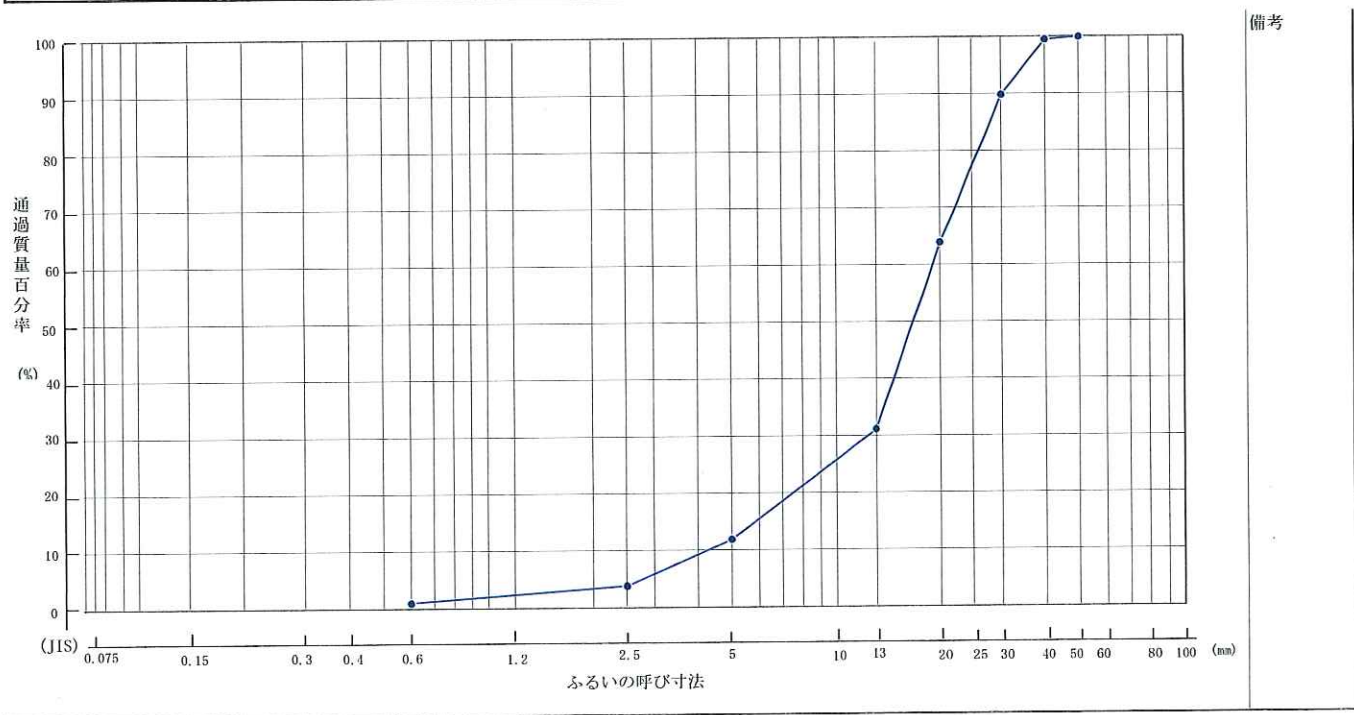
(株)西村碎石所
大谷工場
北九州市八幡西区大字畑
字丸尾551外25筆
TEL (093) 617-0256 (代表)

試 験 成 績 表

試 験 項 目		試験規格	試験方法	試 験 値	規定値 ()		摘 要
骨 材 の 密 度 g/cm ³	表 乾		JIS A 1110	2.72			JIS A 5001
	絶 乾		JIS A 1110	2.70	2.5以上		
吸 水 率 %			JIS A 1110	0.52	3.0以下		
す り へ り 減 量 %			JIS A 1121	14.3	35以下		
粒 度			JIS A 1102				
コンシス テンシー %	液性限界 WL		JIS A 1205	NP			
	塑性限界 WP		JIS A 1206	NP			
	塑性指数 IP		JIS A 1206	NP			
突固め試験	最適含水比 %		JIS A 1210	6.0		試験方法	E—b
	最大乾燥密度 g/cm ³		JIS A 1210	1.904		試験方法	E—b
修正CBR 試験	95 % g/cm ³		JIS A 1211	1.809			
	修正CBR %		JIS A 1211	52			

JIS A 1102		骨材のふるい分け試験			
試料番号		試験年月日		2025年10月3日	
調査名・目的		切込碎石		使用場所	
試料採取場所		貯 積		試験者	
		安藤 俊作			
(試料+容器)質量		g			
容器 (No.) 質量		g			
試料総質量		8,092		g	

ふるいの呼 び寸法 (mm)	各ふるいにとどまる量		各ふるいにとどまる量の累計		ふるいを通る量 (%)	粒度範囲 (%)
	(g)	(%)	(g)	(%)		
50	0	0	0	0	100	
40	38	0	38	0	100	
30	783	10	821	10	90	
25	—	—	—	—	—	
20	2,095	26	2,916	36	64	
13	2,655	33	5,571	69	31	
5	1,558	19	7,129	88	12	
2.5	653	8	7,782	96	4	
1.2	—	—	—	—	—	
0.6	229	3	8,011	99	1	
0.4						
0.3						
0.15						
0.075						
受け皿	81	1	8,092	100	0	
計	8,092	100				



粗骨材の密度及び吸水率試験

切込碎石

試料採取日 2025年10月1日

試験年月日 2025年10月4日

試験で用いた水の温度 20℃

試験者 安藤 俊作

	試験回数	1	2
m_1 : 表面乾燥飽水状態	① ρ_w	0.9982	0.9982
における試料の質量 (g)	② m_1	2,041.8	2,036.9
m_2 : 試料とかごの水中の	③ $m_1 \times \rho_w$	2,038.1	2,033.2
見掛質量 (g)	④ m_2	1,641.8	1,638.4
m_3 : 金網かごの水中の	⑤ m_3	349.7	350.3
見掛質量 (g)	⑥ ② - (④ - ⑤)	749.7	748.8
m_4 : 絶対乾燥状態の	⑦ $D_s = ③ \div ⑥$	2.72	2.72
質量 (g)	表乾密度の平均値 (g/cm ³)	2.72	
D_s : 表面乾燥飽水状態に	表乾密度の平均値からの差 (g/cm ³)	0.00	0.00
おける密度 (g/cm ³)	⑧ m_4	2,031.4	2,026.1
D_d : 絶対乾燥状態に	⑨ $m_4 \times \rho_w$	2,027.7	2,022.5
おける密度 (g/cm ³)	⑩ $D_d = ⑨ \div ⑥$	2.70	2.70
Q : 吸水率 (質量百分率) (%)	絶乾密度の平均値 (g/cm ³)	2.70	
ρ_w : 試験温度における	絶乾密度の平均値からの差 (g/cm ³)	0.00	0.00
水の密度 (g/cm ³)	⑪ $Q = \frac{(② - ⑧)}{⑧} \times 100$	0.51	0.53
	吸水率の平均値 (%)	0.52	
	吸水率の平均値からの差 (%)	0.01	0.01

※ 水の密度は試験温度に応じて次の値を用いる。

温度 (℃)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
密度 (g/cm ³)	0.9991	0.9989	0.9988	0.9986	0.9984	0.9982	0.9980	0.9978	0.9975	0.9973	0.9970

※ 試験値は、平均値からの差が、密度の場合0.01 g/cm³以下、吸水率の場合0.03%以下でなければならない。

ロサンゼルス試験機による粗骨材の すりへり試験報告書

2025年10月31日

北九州市八幡西区大字畑字丸尾551外25筆
TEL (093) 617-0256 (代表)
(株)西村砕石所 大谷工場

試験年月日

2025年10月10日

試験者

安藤 俊作

試料採取箇所	貯 積	試料採取方法	4分法
試料採取日	2025年10月1日	試料の試験前における粒度	13 ～ 5
骨材の呼称	切込砕石	合 否 判 定	合 格
試料番号		備 考	鋼球8個500回転
試料質量	100 kg		

摘 要	測 定 値
① 粒 度 区 分	C
② 試験前の試料の質量 (g)	13 ～ 10 2,500
	10 ～ 5 2,500
③ 試験後の1.7mmフルイに残った試料の質量 (g)	4,286
④ すりへり損失質量②-③ (g)	714
⑤ すりへり減量 (%)	14.3

$$\text{すりへり減量 (\%)} = \frac{\text{すりへり損失量}}{\text{試験前の試料の質量}} \times 100$$

※試料は単粒度S-13 (6号) による。

JIS A 1205 JGS 0141	土の液性限界・塑性限界試験	試験報告用紙
調査名 : 品質管理	試験年月日 : 20125/10/15	
施工場所 :	試験者 : 安藤 俊作	
産地名 : 北九州市八幡西区大字畑字丸尾551外25筆		
依頼者名 :		
試料採取位置 : 貯 積		
試料の種類 : 切込碎石		

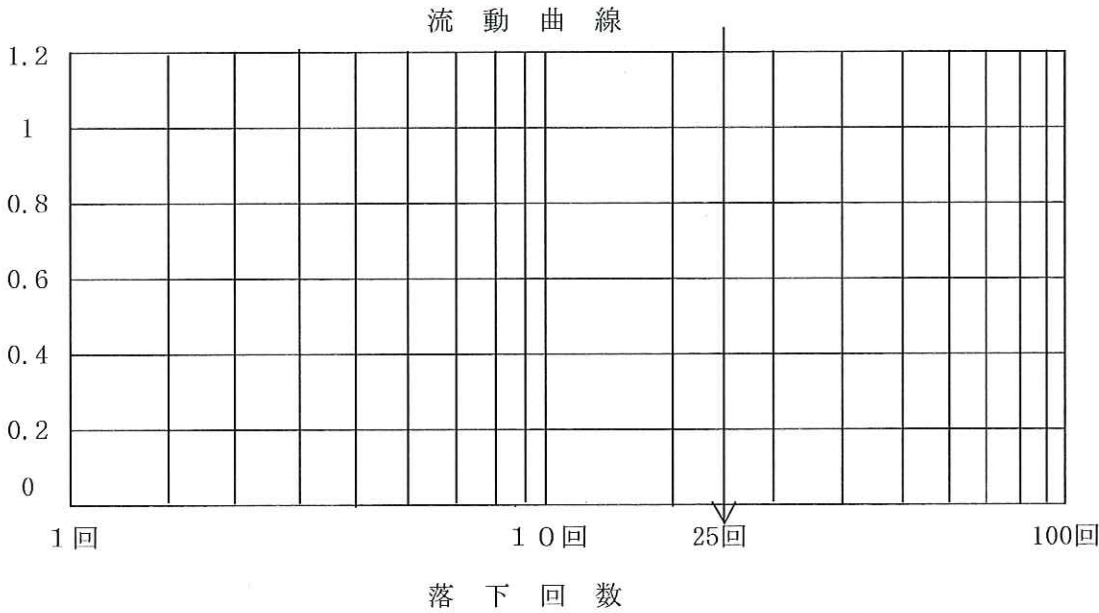
(1) 液性限界試験

落下回数	8 回	落下回数	5 回	落下回数	3 回
容器No.	103	容器No.	113	容器No.	106
m _a (g)	42.61	m _a (g)	45.07	m _a (g)	44.81
m _b (g)	38.14	m _b (g)	39.81	m _b (g)	39.42
m _c (g)	20.18	m _c (g)	20.82	m _c (g)	21.52
w (%)	24.9	w (%)	27.7	w (%)	30.1
落下回数		落下回数		落下回数	
容器No.		容器No.		容器No.	
m _a (g)		m _a (g)		m _a (g)	
m _b (g)		m _b (g)		m _b (g)	
m _c (g)		m _c (g)		m _c (g)	
w (%)		w (%)		w (%)	

(2) 塑性限界試験

No.	No.	No.
m _a (g)	m _a (g)	m _a (g)
m _b (g)	m _b (g)	m _b (g)
m _c (g)	m _c (g)	m _c (g)
w (%)	w (%)	w (%)

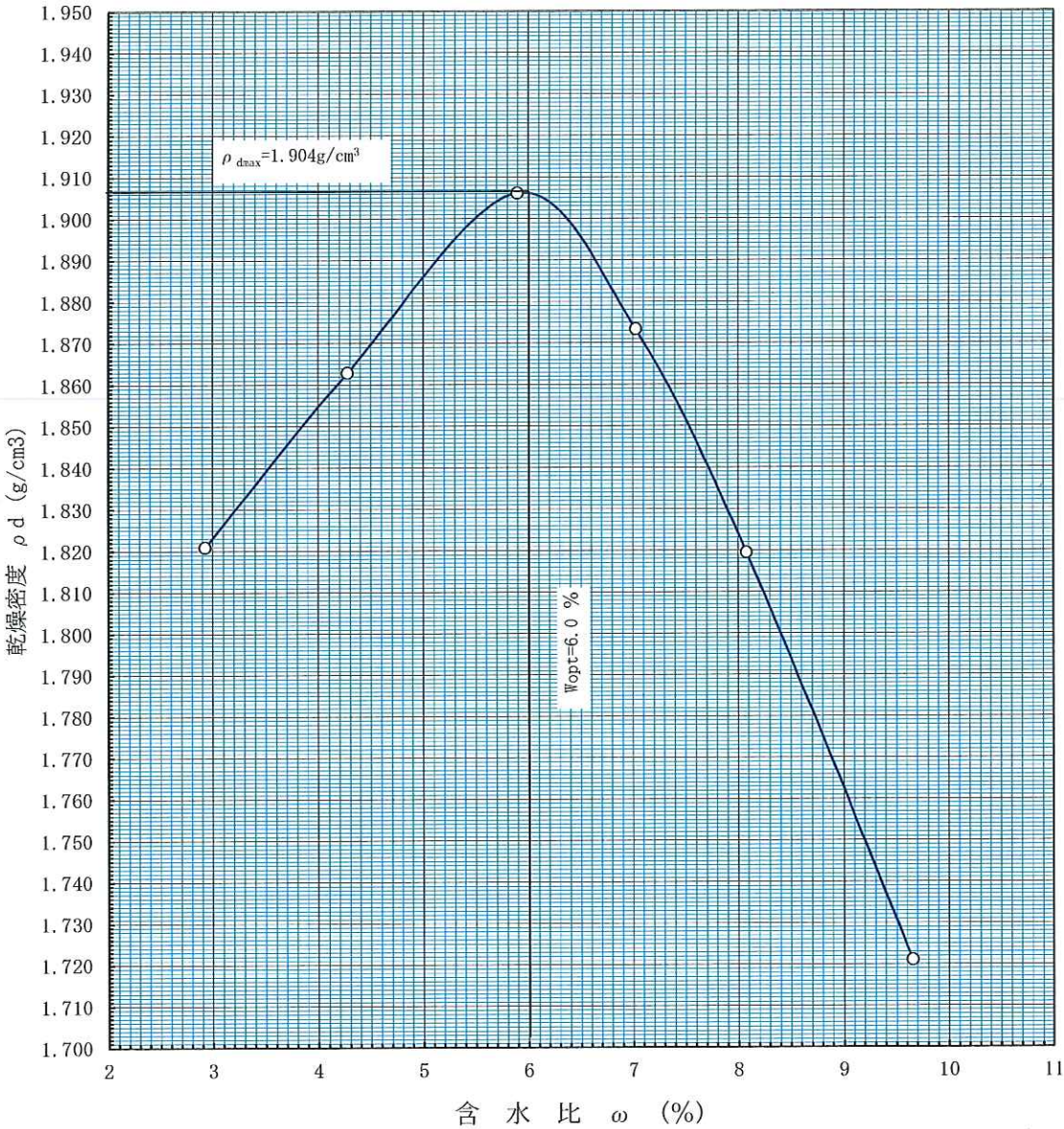
※ 3mmのひも状にならない。



液性限界 W _L (%)	塑性限界 W _P (%)	塑性指数 I _P
NP	NP	NP

JIS A 1210 JGS 0711		突固めによる土の締固め試験 (測定)				試験 用 紙 報 告	
調 査 件 名		品 質 管 理		試験年月日		2025年10月20日	
試料番号(深さ)		切込碎石		試 験 者		安藤 俊作	
試 験 方 法		E-b		土 質 名 称			
試料の準備方法		乾 燥 法 , 湿 潤 法		ランマー質量 kg	4.5	モ	内 径 cm 15.0
試料の使用方法		繰返し法, 非繰返し法		落 下 高 さ cm	45	↓	高 さ cm 12.5
含 水 比	試料分取後 w_0 %			突固め回数 回/層	92	ル	容 量 V cm ³ 2,209
	乾燥処理後 w_1 %			突固め層数 層	3	ド	質 量 ml g 4,003
測 定 No.		1		2		3	
(試料+モールト*)質量 m_2 g		8,143		8,294		8,462	
湿 潤 密 度 ρ_t g/cm ³		1.874		1.943		2.019	
平 均 含 水 比 w %		2.9		4.3		5.9	
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³		1.821		1.863		1.906	
含 水 比	容 器 No.	21		26		16	
	m_a g	5643.1		5513.7		5586	
	m_b g	5506.1		5321.4		5320.7	
	m_c g	821.3		822.3		820.2	
	w %	2.9		4.3		5.9	
	容 器 No.						
	m_a g						
	m_b g						
	m_c g						
	w %						
測 定 No.		5		6		7	
(試料+モールト*)質量 m_2 g		8,347		8,172			
湿 潤 密 度 ρ_t g/cm ³		1.967		1.887			
平 均 含 水 比 w %		8.1		9.7			
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³		1.820		1.721			
含 水 比	容 器 No.	14		28			
	m_a g	5476.1		5472.5			
	m_b g	5128.1		5063.4			
	m_c g	819.8		826.4			
	w %	8.1		9.7			
	容 器 No.						
	m_a g						
	m_b g						
	m_c g						
	w %						
特記事項				1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。 2) モールドの質量は底板を含む。 $\rho_d = \frac{\rho_t}{1+w/100}$			

JIS A 1210 JGS 0711			突固めによる土の締固め試験（測定）					試験報告用紙		
調査件名					試験年月日		2025年10月20日			
試料番号(深さ)					切込碎石		試験者		安藤 俊作	
試験方法		E-b		土質名称						
試料の準備方法		乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg		4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm3			
試料の使用方法		繰返し法 , 非繰返し法		落下高さ cm		45	試料調整前の最大粒径 mm			
含水比	試料分取後 w_0 %				突固め回数 回/層		92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 w_1 %				突固め層数 層		3		高さ cm	12.5
測定 No.		1	2	3	4	5	6	7	8	
平均含水比 w %		2.9	4.3	5.9	7.0	8.1	9.7			
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		1.821	1.863	1.906	1.873	1.820	1.721			
乾燥密度－含水比曲線						最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³		1.904		
						最適含水比 w_{opt} %		6.0		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスぺーサーディスクの高さを差引く。
 ゼロ空間間隙曲線の計算式

$$\rho_{dast} = \frac{\rho_w}{\rho_w / \rho_s + w / 100}$$

JIS A 1211		C B R 試験 (室内貫入試験)				試験 用紙 報告		
調査名・調査地点		切込碎石		試験年月日 2025年10月24日				
供試体条件: 水浸		貫入速さ 1 mm/分		試験者 安藤 俊作				
荷重板 5 kg		検力計No. 5~1.817		較正係数 0.157 k N				
貫 入 試 験								
標準	試料番号No. 1		供試体番号No. 1		試料番号No. 2		供試体番号No. 2	
貫入量	貫 入 量 1/100mm		荷 重		貫 入 量 1/100mm		荷 重	
(mm)	ダイヤルゲージの読み	検力計の読み 1/100mm	k N	ダイヤルゲージの読み	検力計の読み 1/100mm	k N		
0.5	0.52	20	3.1	0.50	21	3.3		
1.0	1.02	40	6.3	1.00	43	6.8		
1.5	1.50	56	8.8	1.51	57	8.9		
2.0	1.98	67	10.5	2.02	68	10.7		
2.5	2.51	75	11.8	2.53	77	12.1		
3.0	3.03	86	13.5	3.03	86	13.5		
4.0	4.02	101	15.9	4.01	104	16.3		
5.0	5.03	116	18.2	4.99	117	18.4		
7.5	7.53	141	22.1	7.49	140	22.0		
10.0								
12.5								

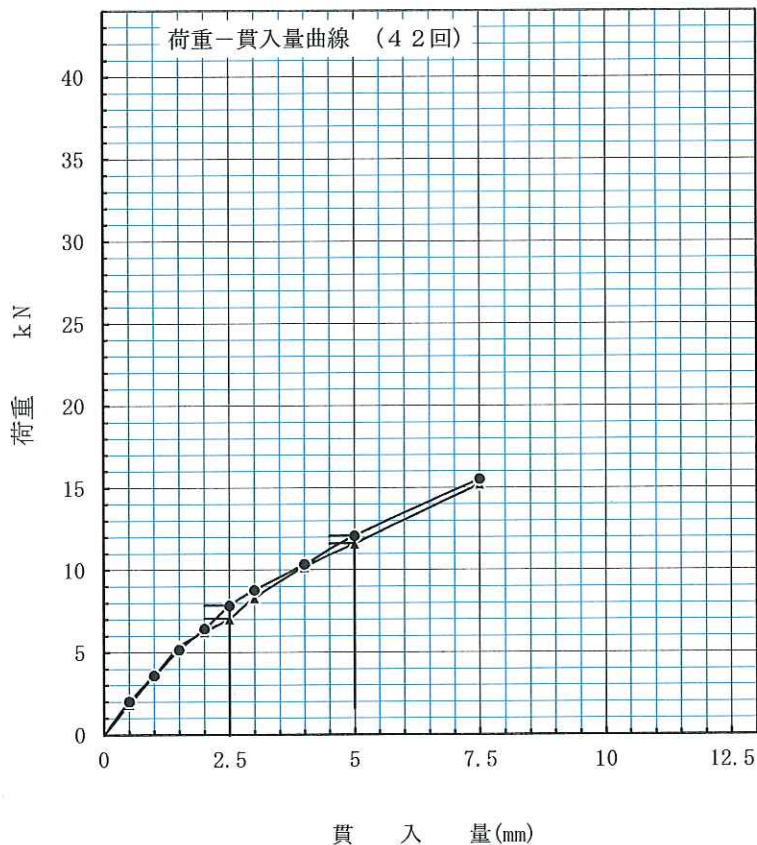
荷重-貫入量曲線 (9 2回)

供試体番号 1		
CBR 2.5	$\frac{11.8}{13.4} \times 100 =$	88%
CBR 5.0	$\frac{18.2}{19.9} \times 100 =$	92%
供試体番号 2		
CBR 2.5	$\frac{12.1}{13.4} \times 100 =$	90%
CBR 5.0	$\frac{18.4}{19.9} \times 100 =$	92%
C B R		
供 試 体 番	1	2
C B R	88%	90%
CBRに対応する貫入	2.5mm	2.5mm
標準 荷 重	13.4 k N	13.4 k N

JIS A 1211	C B R 試験 (室内貫入試験)	試験 用紙 報告
------------	-------------------	-------------

調査名・調査地点	切込碎石	試験年月日	2025年10月24日
供試体条件:	水浸	貫入速さ	1 mm/分
試験者	安藤 俊作		
荷重板	5 kg	検力計No.	5~1.817
較正係数	0.157	k N	

貫 入 試 験						
標準	試料番号No. 3	供試体番号No. 3	試料番号No. 4	供試体番号No. 4		
貫入量	貫 入 量 1/100mm	荷 重	貫 入 量 1/100mm	荷 重		
(mm)	ダイヤルゲージ の読み	検力計の読み 1/100mm k N	ダイヤルゲージ の読み	検力計の読み 1/100mm k N		
0.5	0.49	12	1.9	0.50	13	2.0
1.0	1.02	23	3.6	1.02	23	3.6
1.5	1.53	34	5.3	1.51	33	5.2
2.0	1.99	40	6.3	2.03	41	6.4
2.5	2.51	45	7.1	2.54	50	7.9
3.0	3.05	53	8.3	3.05	56	8.8
4.0	4.01	65	10.2	4.03	66	10.4
5.0	5.02	74	11.6	5.03	77	12.1
7.5	7.51	97	15.2	7.52	99	15.5
10.0						
12.5						



供試体番号 3
CBR 2.5 $\frac{7.1}{13.4} \times 100 =$ 53%
CBR 5.0 $\frac{11.6}{19.9} \times 100 =$ 58%
供試体番号 4
CBR 2.5 $\frac{7.9}{13.4} \times 100 =$ 59%
CBR 5.0 $\frac{12.1}{19.9} \times 100 =$ 61%

C B R		
供 試 体 番	3	4
C B R	53%	59%
CBRに対応する貫入	2.5mm	2.5mm
標準荷重	13.4 k N	13.4 k N

JIS A 1211

C B R 試験 (室内貫入試験)

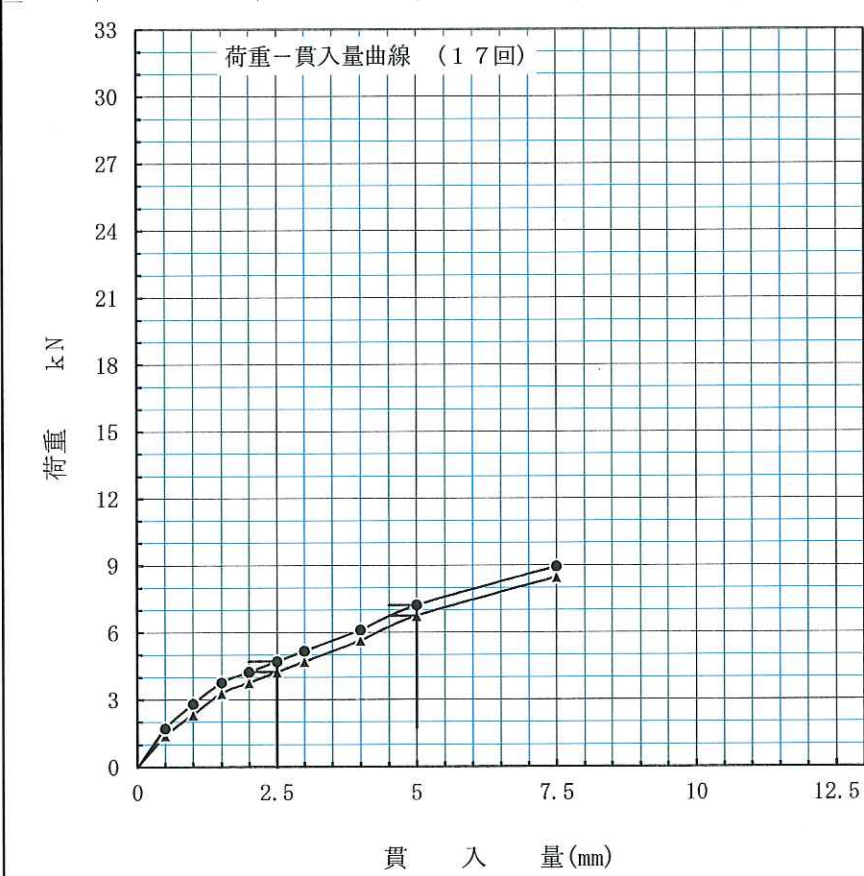
試験 用紙
報告

調査名・調査地点切込碎石試験年月日2025年10月24日

供試体条件：水浸貫入速さ1mm/分試験者安藤 俊作

荷重板5kg検力計No. 5~1.817校正係数0.157k N

貫 入 試 験								
標準 貫入量 (mm)	試料番号No. 5		供試体番号No. 5		試料番号No. 6		供試体番号No. 6	
	貫 入 量 1/100mm		荷 重		貫 入 量 1/100mm		荷 重	
	ダイヤル の読み	検力計の読み 1/100mm	k N		ダイヤル の読み	検力計の読み 1/100mm	k N	
0.5	0.49	9	1.4	0.51	11	1.7		
1.0	1.03	15	2.4	1.06	18	2.8		
1.5	1.51	21	3.3	1.54	24	3.8		
2.0	2.02	24	3.8	2.06	27	4.2		
2.5	2.53	27	4.2	2.54	30	4.7		
3.0	3.02	30	4.7	3.01	33	5.2		
4.0	4.04	36	5.7	4.02	39	6.1		
5.0	5.03	43	6.8	5.06	46	7.2		
7.5	7.51	54	8.5	7.49	57	8.9		
10.0								
12.5								



供試体番号 5		
CBR 2.5	$\frac{4.2}{13.4} \times 100 =$	32%
CBR 5.0	$\frac{6.8}{19.9} \times 100 =$	34%
供試体番号 6		
CBR 2.5	$\frac{4.7}{13.4} \times 100 =$	35%
CBR 5.0	$\frac{7.2}{19.9} \times 100 =$	36%
C B R		
供 試 体 番	5	6
C B R	32%	35%
CBRに対応する貫入	2.5mm	2.5mm
標準 荷 重	13.4 k N	13.4 k N

アスファルト舗装要綱		路盤材料の修正CBR試験				試験 報告用紙			
試料番号		試料の最大寸法				mm			
調査名・目的		試料の使用別				非繰返し法			
材料の種類		切込碎石		試験年月日		2025年10月24日			
材料の使用場所		試験者				安藤 俊作			
1. 試料の92回突固め試験結果				4	2.005	7.0	1.873	6. 修正CBR	
				5	1.967	8.1	1.820		
モールド No.	湿潤密度 ρ_t (g/cm ³)	含水比 ω (%)	乾燥密度 ρ_d (g/cm ³)	6	1.887	9.7	1.721	締固め度	95%
1	1.874	2.9	1.821	2. 最適含水比と最大乾燥密度				標準荷重	13.4 kN
2	1.943	4.3	1.863	最適含水比 ω_{opt} (%)				6.0	修正CBR
3	2.019	5.9	1.906	最大乾燥密度 ρ_{dmax} (g/cm ³)				1.904	52%
		3. 非水浸供試体		4. 水浸供試体				5. CBR試験結果	
突固め 回数	モールド No.	湿潤密度 ρ_t (g/cm ³)	乾燥密度 ρ_d (g/cm ³)	膨張比 γ_e (%)	湿潤密度 ρ'_t (g/cm ³)	乾燥密度 ρ'_d (g/cm ³)	含水比 ω' (%)	2.5mm 13.4 kN	5.0mm 19.9 kN
92	1			0.0	2.032	1.905	6.7	88	92
	2			0.0	2.030	1.900	6.8	90	92
	(平均値)			0.0	2.031	1.903	6.8	89	92
	3			0.0	1.948	1.827	6.6	53	58
42	4			0.0	1.952	1.834	6.4	59	61
	(平均値)			0.0	1.950	1.831	6.5	56	60
	5			0.0	1.827	1.710	6.8	32	34
17	6			0.0	1.833	1.717	6.8	35	36
	(平均値)			0.0	1.830	1.714	6.8	33	35

乾燥密度 ρ_d (g/cm³)

ρ_{dmax}
1.904
g/cm³

95%修正
1.809g/cm³

$\omega_{opt}=6.0\%$

含水比 ω (%)

42回

92回

17回

修正CBR 52%

修正CBR 77%

CBR(%)